

十月二日

十三時大学中国の件。内閣府に沖縄の件で書類を送る。FFCワールドツアーの書類作成。その他雑用。夜世田谷で打ち合わせ続く。住宅建築の石山研特集は海光&植林麻衣さんが頑張ってくれて、マアマアのモノに仕上がっていた。中国の件アイデアがポツポツ浮かんではいいるのだが、まとまらぬ。こればかりはね、アイデアが形にならなくなったら、もう終わりなんだから。

十月三日

十一時半大学。会議。教室会議。十五時半十勝後藤氏来室。スノーポート他の相談。前向きな仕事の話はやはり嬉しい。十五時研究室OB高山君来室。来春の柄谷行人ナムのシンポジウムの相談。高山は一生ケン命動いているようだが、まだチョツと危いところがある。柄谷浅田両氏を引っ張り出してまでやる会ならばもつと工夫があっても良いのじゃないか。二〇時過西調布へ。

十月四日

朝八時半地下増井君来。オープンテックハウス#5その他の打合わせ。十一時半半蔵門ダイヤモンドホテル待合せ麹町でS社鈴木社長と会食。十二時半大学へ。昨夜は西調布で波乱含みの打ち合わせがあった後二十四時過から今朝二時迄地下で打ち合わせが続いたので午後どうしようもない位に眠くなる。十五時設計製図、

十七時過中国打合わせ。基本的な案はまとまった。十八時半田中君来室。十九時半千駄ヶ谷で伊東豊雄さんと久し振りに会う。ヴェネチアビエンナーレの賞のお祝いを申し上げ、その他色々話す。伊東さんは自分の建築家としての道筋をはっきり持っていて六十五才になったら又何か御一緒しようという事になった。それまで私も体力気力を横溢させておかねばならないが、これは仲々大変なことではある。「石山さん先生やって本当に良かったの」と面と向って言われてしまったが、全くその通りなんだよね。キチンとした建築を作っていないと友人にこんな事言われてしまう。先生やっていると本当に先生になってしまふとは思ってはいたが他人から言われると矢張りキツイ。アデルカルサヴィーヌの会の事、村上春樹の最新作についてなど興味深かった。現実とイリュージョンの混濁状態について伊東さんの関心は向っているようだ。このところの伊東さんのパビリオン建築の可能性についても話し合った。イイ建築作らねばならない。私らしいやり方で。

十月五日

今日明日と稲田堤でのモンスター作り。こんな事に夢中になっているようじゃ伊東さんに笑われるな。でもこれが私なりの不正解も正解の一つであるという伊東パビリオンの超近代への解答の仕方と同様な問題意識なんだけれど。余りにも変なのかな、やっぱり。モンスターと言ってはいるがたかだか十五メートルくらいのモノじゃ駄目なんだ。百五〇メートルくらいの大きさがないと現代じゃないのかも知らないという事実に対面しているのだろう。